
マネー・ロンダリング対策システム「BankSavior®シリーズ」に 顧客管理システム「BankSavior ScoreBoard」を加え、提供開始

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SCSK)は、マネー・ロンダリング(資金洗浄)対策(以下 AML)システムとして提供している「BankSavior®(バンクセイバー)シリーズ」に、顧客管理(Know Your Customer:KYC)システムとして「BankSavior ScoreBoard(スコアボード)」を新たに加え、2019年4月から販売を開始しました。

「BankSavior ScoreBoard」は、顧客情報を一元管理し、AML リスクの格付・スコアリングを行うとともに、継続的な顧客管理を支援する機能を提供します。

1. 背景

金融活動作業部会(FATF)による第4次対日相互審査を目前に控え、金融機関においてはAML やテロ資金供与への対策強化が大きな課題となっています。金融庁より公表された「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」においても、AML の対策強化には、顧客のリスクを特定・評価し、リスクに見合った低減措置を講ずること(いわゆるリスクベース・アプローチ)が不可欠であると記載されており、リスクベース・アプローチの根幹となる顧客のリスク評価および継続的な管理は、最重要課題の一つとなっています。

「BankSavior ScoreBoard」を導入することで、顧客のリスク評価や継続的な顧客管理業務の負荷を軽減するとともに、「BankSavior(取引モニタリング)」や「BankSavior Filter(フィルタリング)」との連携により、リスクベース・アプローチが可能となります。

2. 「BankSavior ScoreBoard」の特長・機能

・顧客リスク評価機能

顧客の属性情報や取引情報をもとに、顧客毎のAML リスクを算出します。

算出したリスクスコアは、「BankSavior(取引モニタリング)」へ自動連携されモニタリングに活用することができます。

・顧客管理機能

顧客情報の一元管理ができます。画面からのファイル取り込みなど、データ登録に必要なさまざまなインターフェースを提供しています。

リスク評価の期日管理やワークフロー機能を提供し、顧客管理業務の事務負荷軽減に寄与します。

・業務支援

システムの提供に加え、顧客分析やリスク算定ロジックの作成支援など、SCSKがこれまで培ってきたノウハウを活用し、業務面でもサポートします。

3. 「BankSavior®シリーズ」の概要

金融機関における AML 対策に必要な機能を提供しているSCSKオリジナルのパッケージです。
このたび、以下 2 製品に「BankSavior ScoreBoard」が加わります。

取引モニタリング「BankSavior」

SCSKが 2004 年から開発を続けてきたルール判定機能を中核とし、日本の商慣習を反映させたトランザクション(取引)モニタリングシステムです。

銀行をはじめとする金融機関 59 行に採用されており、AML システムとしては業界内において高いシェアを占めています。ATM 入出金、ネット取引といった取引データと顧客情報などから疑わしい取引のモニタリングを実現するとともに、疑わしい取引の届出に関する事務処理の支援機能により、金融不正取引の検知から報告に至る一連の業務を支援します。

フィルタリング「BankSavior Filter」

反社会的勢力、経済制裁対象者、各国政府関係者や公的要人(PEPs)など、複数のリストを一括照合するフィルタリングシステムです。

フィルタリングエンジンには、国内金融機関にて多数稼働実績のあるリネア社の「Pursuer」を採用し、あいまい検索など AML 対策に必要な機能を提供します。

4. 販売目標

今後 3 年間で 30 行への販売を目指します。

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

金融システム第一事業本部 銀行ソリューション第二部 赤坂

TEL:03-6772-6680

E-mail: takehiko.akasaka@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

広報部 栗岡

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。